

ハンディをささえる モノづくり通信

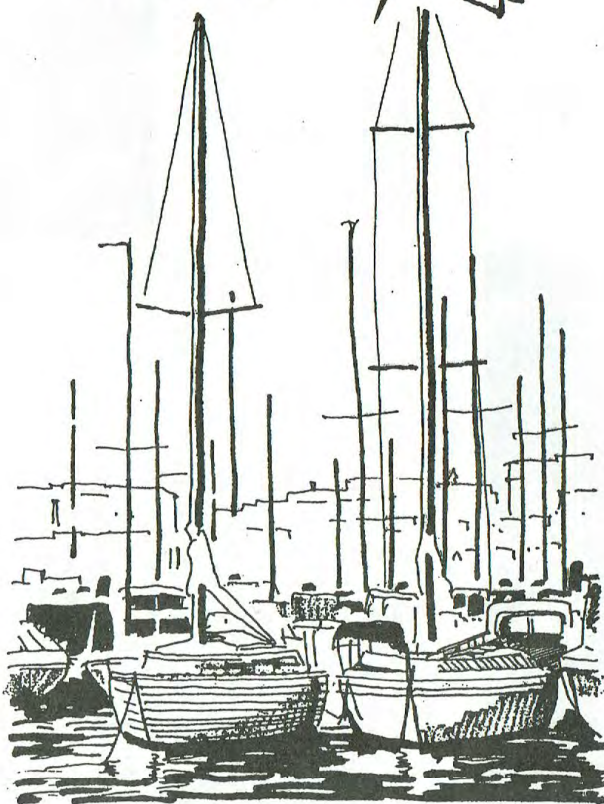
福祉機器住宅研究会

発行責任者
代表 杉浦史郎
765-4041

制作協力
朝日新聞大阪本社
読者室
電話06(201)8033



新年賀詞



副代表中北 清・画

一層の発展を祈ります

大阪市社会福祉協議会 事務局長 門脇光也



新年あけましておめでとうございます。
福祉機器・住宅研究会の皆様には、日頃から、私も大阪府社会福祉協議会・大阪市ボランティアセンターの事業推進に多大な協力をいただき、誠にありがとうございます。

方々の在宅生活の環境をよく豊かなものにするために、様々な創意工夫をいただき、研究会にお世話になられた方々から、多くの喜びの声を耳にします。

研究会の皆様のご活躍に心から感謝申し上げます。またボランティアセンター主催の「日曜大工ボランティア講座」におきましては、企画にはじまり、幅広い講師の紹介、研究会メンバー自身による指導・育成など、全面的な協力をいただき、全国的にも高い評価をいただく事業に発展することができました。

どうか今後とも地域福祉、ボランティア活動の進展のために、お力添えをいただきますようお願いいたします。

すでにご存じのように、二十一世紀初頭には、わが国はかつてない超高齢社会を迎えますが、在宅ケアの野はますます広がっていく

研究会の皆様、明けましておめでとうございます。
昨年は、高齢者、障害者の住まいの改造の他に、新しい活動として、西宮の重度身体障害者の仮設ホームや大阪市内2か所のグループホームの建設、また、全国社会福祉協議会のボランティア活動の一環としての大工教室の開催など、会員の方々に幅広い活動をしていただきありがとうございます。
さて、研究会も満足して3年目に入りましたが、本年度の活動の最大の目標は、活動拠点の確保です。
現在では、スノコを製作するにしても、殆どが会員の自宅で、近所に気がねをしながら行っていたいたしておりますが、製作場所が出来れば、いつでも自由な時間に製作していただけるようになるでしょう。
材料のストックや道具、機器類の充実をはかり、二ドの受付から完成までの時間を出来るだけ短縮したいと考えております。
できれば、月例会や会議やセミナーが開催出来る部屋も是非欲しいですね。そこでしよう。

どうか研究会が一層発展されるとともに、他都市にも生まれるであろう同様の活動のリーダーとしてご指導の手を延べていただければと存じます。

活動はますます多忙になられることですが、皆様、お身体に充分ご留意され、ご活躍いただきますようお願い申し上げます。

上田さん、安らかに
本会の製作グループで活躍いただきました。また大阪府ボランティアのサブリーターであり、木工のオーソリティーであった上田隆男(うへだ たかお)さんは、十二月四日、交通事故により逝去されました。

上田さんは昭和十二年七月五日生まれ、永大産業株式会社の研究開発部として勤務され、収納・キッチン・ドアの研究開発に従事されておりました。

当研究会には平成六年五月に、新聞に掲載された記事を読まれて入会。平成七年二月に製作グループのサブリーターとなり、五月からは初期診断チームのメンバーとして

ありし日の上田さん

新しい年を迎えて 目標は活動拠点の確保



うすれば、月一回しか顔を合わせることが出来ないのが、随時来ていただいて会員の交流が活発になっていくでしょう。

例えば、広報部、企画部、建築部、製作部、研究開発部、リサイクル部、ほち部(ほんの少しの時)間だけ協力出来る人達の部、等々の部会を設け、会員全員がそれぞれの部会に属していただいて、自分の時間の都合に合わせて活動していただこうようにしていきたいと考えております。

また、色々と将来に向けての夢は広がってまいりますが、これらが初めに終わることなく、実現にむけて、会員の皆様と共に頑張っていきたいと思っております。

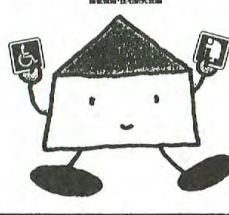
この研究会が益々発展していき、社会に大きく貢献出来るよう、皆様と共に努力していきたいと思っております。

福祉機器住宅研究会
代表 杉浦史郎
申込みは事務局まで。

出来ました

2冊目の事例集
研究会が編集しました2冊目の本が、朝日新聞東生文化事業団のご協力により出来上がりました。

ハンディある暮らし
高齢者・障害者のための住まいの工夫
福祉機器住宅研究会



手すりとスロープで トイレへ行きやすく

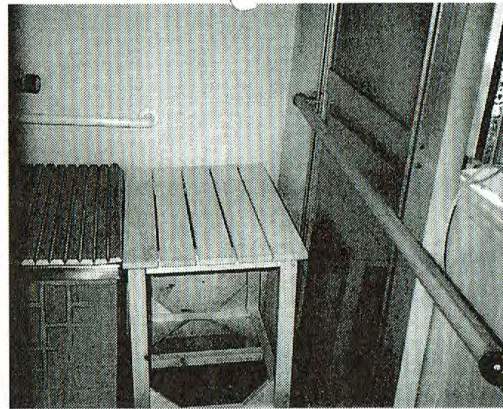
事例2

Nさん夫婦 夫92才、妻88才 A 廊下とLDの9cmの段差をなくし、廊下に手すりを付けたい。又ベッ トから立ち上がる時やトイレにも手すりがほしい。
B 高齢者の夫婦ふたりのマンション暮らし、近所に息子夫婦が住んでいる。パーキンソン病の奥さんは、手すりにつかまって一人で移動しトイレに行く。御主人は杖を使用し、手すりを持って移動する。兩人共外出時には、車椅子を使用する。
C LDの一部を9cm床上げし、廊下と同じ高さにし、スロープを取り付けて移動しやすくした。便所には、片方だけ横手すりが付いているが、更にもう片方にも横手すりを取り付け



スロープで段差解消

スノコ状のイスを設置



Sさん 80才 女性
A 浴室の段差が大きい。ろえに、両ひざが悪く、入浴にいくので工夫してほしい。
B 視聴覚障害の夫と二人暮らし。震災で自宅が倒壊した後三月上旬まで老人ホームに入所していたが大阪市の仮住居の受け入れで古い公団住宅へ入居。浴室の入口は段差が大きく、浴槽も据え置きなので入りにくい。
C 浴室の段差をなくすために床面全体に10cm高さのアジャスター付きスノコを敷いた。又浴槽横の空間に、浴槽と同じ高さのスノコ状の椅子を設置した。入浴の仕方を覚えて貰い、本人に実際に入浴動作を行って貰った。そして「ずいぶん楽に入浴出来たよ」とのお言葉をいただいた。
D 製作者は木村さん。夏場の終わりの休日の一日をついで、汗をかきかき頑張り続けた結果、ずいぶん立派なスノコと椅子が出来上がった。取り付けは八木さんに手伝ってもらい、ビュローの横山さんと実習生の方の立ち会いのもとにおこなった。施工は多少こずったが、満足の出る仕上がりで、完成後入浴の仕方を覚えて貰い、本人に実際に入浴動作を行って貰った。そして「ずいぶん楽に入浴出来たよ」とのお言葉をいただいた。

事例1

ずいぶん楽に入浴できますね

口から浴槽までの壁面に横手すりや浴槽横にL型手すりを取り付けた。
D 製作者は木村さん。夏場の終わりの休日の一日をついで、汗をかきかき頑張り続けた結果、ずいぶん立派なスノコと椅子が出来上がった。取り付けは八木さんに手伝ってもらい、ビュローの横山さんと実習生の方の立ち会いのもとにおこなった。施工は多少こずったが、満足の出る仕上がりで、完成後入浴の仕方を覚えて貰い、本人に実際に入浴動作を行って貰った。そして「ずいぶん楽に入浴出来たよ」とのお言葉をいただいた。

事例3

日常の行為が容易になった



玄関におしゃれな靴脱ぎ椅子

Hさん 80才 女性
A 廊下・風呂場の入り口・浴室・トイレに手すりが必要。又寝室と廊下との段差の解消、玄関入り口に靴脱ぎ椅子が必要。
B 骨粗しょう症で歩行がなかなか遅い。夫がいて家事はできない。夫がいて介護は娘さんが交代でしてくれ。健康な人には室内での問題はないが、転倒を防ぐために整備が必要。
C 寝室より風呂、便所までの歩行を安全にする。手すりを廊下・便所内に取付け、廊下と寝室との段差をなくし、浴室内に手すりを取り付け又玄関に椅子を設置する。
D 手すりや椅子を設置する事により、容易に日常の行為(用便・入浴・洗面)等が行われ喜んでいた。又、玄関椅子に代わってオリジナル製品を企画出されればよいと思います。

初期診断研修会

11月25日伊賀上野で

現在会員数80名、ニードも80余件、月を重ねる毎に数多くのニードがあり、高齢者や障害者をもつ人が、できるだけ自宅自立生活が続けられるように、住まいの改善や補助具の開発に取り組みんでいます。が、ニードの増加に伴い、

これまでもあった初期診断者を15名に増員をしました。それに伴い、会則及び活動フロアに関する共通の原則について話し合った。大阪府社会福祉協議会の職員2名を加えた15名の参

加者は、自己紹介に始まり、当会活動フロアの確認として中北氏より、当会の会則及び、初期診断についてその原則と種々のパターン毎の方針についての説明がありました。ついで、後藤氏より製作に関わる流れや、その書類などの説明があり、それ等を受けて質疑応答に入り、熱心な討議の後、フリーティングで一同の研究会に対する思いを語り合っていた。夕食を兼ねた懇談会でも、谷氏の各氏から杉浦、野原、芝崎さん、杉浦史郎さん

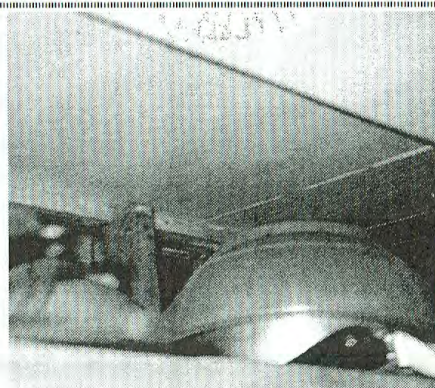
の勢いも手伝って、個々の思いが熱気を帯び、延々と深夜に及ぶまで討論が続きました。このたびの研修会は、さ

だと思えます。又、使用人に合わせた高さ等、研究会にてオリジナル製品を企画出されればよいと思います。

製作実習の部は、故土田隆男氏を中心となり、靴脱ぎ、手すりの取り付け、最後のスノコまたはスロープの製作を指導した。住宅改造相談とミニ講演 11月16日 北沢氏より前回の広場を始めるホール全館に引き付けられた。「住宅改造相談とミニ講演会」担当として、当研究会から杉浦、野原、芝崎さん、杉浦史郎さん

製作実習の部は、故土田隆男氏を中心となり、靴脱ぎ、手すりの取り付け、最後のスノコまたはスロープの製作を指導した。住宅改造相談とミニ講演 11月16日 北沢氏より前回の広場を始めるホール全館に引き付けられた。「住宅改造相談とミニ講演会」担当として、当研究会から杉浦、野原、芝崎さん、杉浦史郎さん

製作実習の部は、故土田隆男氏を中心となり、靴脱ぎ、手すりの取り付け、最後のスノコまたはスロープの製作を指導した。住宅改造相談とミニ講演 11月16日 北沢氏より前回の広場を始めるホール全館に引き付けられた。「住宅改造相談とミニ講演会」担当として、当研究会から杉浦、野原、芝崎さん、杉浦史郎さん



ねずみのふんも落ちません

事例4

台所が明るくなる

Yさん 77才 男性
A 台所出窓天井老朽の為、隙間よりねずみのフンやゴミ等が流し場に落ち、不衛生なので修理してほしい。
B 現在独り暮らしで妻は入院中、本人は全盲で週2回ヘルパーの方が買物、食事の用意その他お手伝いに来てくれている。
C 流し場の天井を撤去し、化粧板を天井に張り替える。
D 台所全体が明るくなり、衛生上良く快適になり、台所で食事作りが出来ようになったとヘルパーさんが喜んでいられた。

定例会のお知らせ

《二月》
日時：二月三日(土)
午後一時三十分～五時
場所：大阪市立社会福祉センター三階五号室
テーマ：「二一」を「二二」に
発表者：鴻上敬二氏
事例報告その他
《三月》
日時：三月一日(土)
午後一時三十分～五時
場所：大阪市立社会福祉センター三階五号室
テーマ：「グループホームについて」
講師：中部障害者開放センター職員 石田義典氏
事例報告その他

活動報告

日曜大工ボランティア講座
10月21・28日は関西電力南大阪支店、11月11・18日は大阪ハナクノロジー専門学校会場に中級級が行われた。
講師は、四回を通じて三浦久子氏が「住まいの安全チェック」と題して講演をした。
製作実習の部は、故土田隆男氏を中心となり、靴脱ぎ、手すりの取り付け、最後のスノコまたはスロープの製作を指導した。住宅改造相談とミニ講演 11月16日 北沢氏より前回の広場を始めるホール全館に引き付けられた。「住宅改造相談とミニ講演会」担当として、当研究会から杉浦、野原、芝崎さん、杉浦史郎さん

事務局より

通信費納入のお願い
「モノづくり通信」等を送付するための通信費等の協力金を、平成7年度から徴収しています。
年度毎に1,000円納入方法・事務局に直接ご持参くださるか、郵便振替でお願いします。
《郵便振替口座番号》009202・302360
《加入者名》福祉機器・住宅研究会
11・12月のご寄付 野原泰二さん、大室尊昭さん、芝崎さん、杉浦史郎さん